栃木 会議所ニュース

ホームページ https://www.tochigi-cci.or.jp Eメール tcci@tochigi-cci.or.jp

No.655

毎月1回10日発行
発行所
栃木市片柳町2－1－46
栃木商工会議所
TEL（23）3131㈹
FAX（22）7550
印刷所 第一印刷㈱
定価 1部100円

会員の購読料は、会費に含まれています。

2022年 会頭あいさつ

栃木商工会議所
会頭 荒金 憲一

新年明けましておめでとうございます。

会員事業所の皆様には、令和4年寅年の新年を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

改めて、昨年を振り返りますと、一昨年から続くコロナ禍による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの度重なる発出により、国・県及び市はもとより、当所で予定しておりました多くの事業が中止に追い込まれる中、人々の社会生活・活動が自粛志向に向かうことによって、多種多様な産業において厳しい環境が続いてまいりました。

昨年十月末に、新型コロナウイルス感染者数の減少等により、全国的に緊急事態宣言等が解除になったわけでありますが、この大きな要因は、国が一丸となり速やかな国民へのワクチン接種に取り組まれた結果であると考えます。これもひとえに、市行政をはじめ医療関係者の皆様のご努力の賜物であると心から敬意を表します。

しかし、世界的には新たな変異株が発生するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

関係者の皆様にはまだまだご苦労が多いこととは思いますが、市民の安全・安心のため、引き続き円滑なご対応をお願い申し上げます。

さて、今後の社会では、ゼロコロナへの期待は難しいものの、ウィズコロナのもとで、社会経済活動の正常化への道筋を示していかなければなりません。

緊急事態宣言等が解除されましたが、足元では飲食・宿泊・観光・交通など「人流」、人の流れで成り立つ事業者にとりましては、まだまだ厳しい状況が続いております。

このため、国・県においては、経済の再建のための消費喚起の取り組みや子育て世帯への支援強化などの実施、さらに市では市内事業者への経営支援とともに市民への生活支援の取り組みとして、三〇％のプレミアムを付した総額二億八千六百万円の「とち介商品券」を、私ども商工経済団体にて発行事業を実施し、完売されましたことから消費拡大に大きく寄与するものと期待しております。

当所といたしましても、地方都市の均衡ある発展や雇用の創出に寄与しております中小・小規模事業者の活性化が重要でありますことから、事業者の皆様に寄り添い、事業継続のためのきめ細かな支援がまだまだ必要と考えており、引き続き国・県等の関係機関への支援要請とともに事業者の皆様への相談・支援に鋭意取り組んでまいります。

そして、本年七月には当所の創立百三十年目を迎えることになり、当所において先達の皆様が築いてきました偉功に新たな歴史を刻むことになります。

このため、創立百三十周年記念式典や会員ゴルフ大会の開催、またとちぎ秋まつりの協賛など、百三十周年を祝するための事業を実施してまいります。

是非、会員事業所皆様のご参加をお願い申し上げます。

今後とも、当所は地域経済の発展のため積極的に活動してまいりますので、会員事業所の皆様におかれましてはより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員事業所の皆様の益々のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のあいさつといたします。

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願いいたします

（敬称略）

会頭

荒金憲一
ケーブルテレビ㈱　取締役会長

副会頭

若菜秀夫
㈱アスワン　代表取締役会長

茂呂　章
金朝商事㈱　取締役会長

小野口美治
小野口商事㈱　代表取締役社長

膝附武男
ひざつき製菓㈱　代表取締役

専務理事

國保能克
栃木商工会議所

常議員

坂本邦男
坂本産業㈱　代表取締役会長

津布久　茂
㈱ニッコークリエート　代表取締役社長

財田忠典
㈱ヤオハン　代表取締役社長

早乙女　勇
㈱上原園　代表取締役会長

小又正和
小又工業㈱　代表取締役

松本　稔
松金化学工業㈱　代表取締役

小池雅弘
㈱スクラムフーズ　代表取締役社長

茂木広至
茂木機工㈱　代表取締役

渡邊嘉一
ワタレイ㈱　代表取締役社長

長澤厚史
㈲ナガサワ　代表取締役

小藤有彦
㈱小藤製作所　代表取締役

板倉勇作
㈱板倉製作所　取締役会長

田島　大
栃木市商店会連合会　会長

柳川延夫
栃木ガス㈱　取締役社長

山口　輝
滝沢ハム㈱　常務取締役管理本部長

片柳　均
㈱セレモール　取締役会長

五十嵐　学
㈱足利銀行栃木支店　支店長

中里武司
㈱みずほ銀行栃木支店　支店長

議員

塚田和克
㈱ツカダ　代表取締役

伏木昌人
栃木信用金庫　理事長

大阿久岩人
㈱柏倉温泉太子館　会長

土谷一郎
㈱土谷龍治郎商店　代表取締役社長

若林芳明
栃木グランドホテル㈱　取締役会長

大澤光司
㈱メディカルグリーン　代表取締役

柏﨑和己
㈲栃木地区浄化槽公社　代表取締役社長

栃木孝夫
栃木木材㈱　代表理事

松倉敬士
栃木乳業㈱　代表取締役

青木紀郎
栃木アンカー工業㈱　取締役副社長

猿山　貴
岡田石灰工業㈱　常務取締役

福田昌弘
日ノ出印刷㈱　代表取締役社長

平野和正
㈱正和　代表取締役社長

岩下和了
岩下食品㈱　代表取締役社長

特別顧問

前会頭
大川吉弘

相談役

元副会頭
田村佐重

元副会頭
永山清助

前副会頭
笠原孝之

前副会頭
大木和

前副会頭
小田垣俊郎

監事

関東信越税理士会栃木支部　相談役
藤沼康雄

シマダ㈱　代表取締役
嶋田完治

タナベ労務管理事務所　代表
田邉勇輝

議員

森戸運送㈲　代表取締役
森戸忠広

㈱共同プロ保険事務所　代表取締役会長
寺内治雄

㈲森川自動車　会長
森川武

福富税務会計事務所　所長税理士
福富正浩

伊藤電機㈱　代表取締役社長
伊藤和博

㈱栃木県南自動車学校　代表取締役社長
癸生川照男

舘野建設㈱　代表取締役会長
古谷清岳

㈱荒川建設　代表取締役
荒川光男

㈱明治フード　代表取締役
田名網文男

関口商事㈱　代表取締役
関口佳市

㈱小林縫製工業　代表取締役社長
小林雄一

栃木冷暖工業㈱　代表取締役
佐々木浩

栃木陶器瓦㈱　代表取締役
小島峰夫

㈱アサヒドー　専務取締役
八木原清二

㈱大木組　代表取締役社長
大木敬

落合産業㈱　代表取締役
落合希好

㈱毛塚紙店　代表取締役
毛塚敏郎

㈱佐山　代表取締役社長
佐山謙三

ジャパンソルト㈱　常務取締役
斎藤卓司

須田商事㈱　代表取締役
須田尚男

大正紙器㈱　代表取締役社長
谷中俊太郎

㈲田村自動車整備工場　代表取締役
田村義弘

㈱栃木こすもす　代表取締役
横地克孝

㈱別井商店　取締役会長
別井晃男

両毛印刷㈱　代表取締役
松本篤哉

サントリースピリッツ㈱梓の森工場　工場長
岸重信

㈱西畑建材店　代表取締役
西畑圭樹

㈱タスク　名誉会長
川嶋幸雄

栃木レザー㈱　代表取締役
遅澤敦史

日立グローバルライフソリューションズ㈱
冷熱家電本部長
山田三紀夫

㈱関東エコリサイクル　代表取締役
市本和久

㈱群馬銀行栃木支店　支店長
赤尾憲司

㈱栃木銀行栃木支店　支店長
上野和昭

2022年 年頭所感

「地域とともに、未来を創る」

日本商工会議所
会頭　三村明夫

明けましておめでとうございます。

２０２２年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

昨秋以降、国内では新型コロナ新規感染者数が著しく減少し、本格的な日常生活回復に向けた動きが加速化する中で新年を迎えられたことを皆さまと共に喜びたいと思います。

海外での感染再拡大などもあり、先行きの見通しは予断を許さないものの、商工会議所は、本年を感染防止と社会経済活動をより高い次元で両立させる年と位置付け、地域経済ならびにそれを支える事業者の皆さまの発展のため、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、コロナ禍で急激に落ち込んだ経済もようやく回復基調に転じましたが、依然力強さを欠き、業種や規模により回復度合いが異なる「Ｋ字型回復」の状況が続いています。国民全体を覆う閉塞感を真に打開するためにも、昨年政府が決定した「新たな経済対策」の着実な実行はもとより、国民が日本の将来について明るい希望を抱けるような、新たな成長と発展への道筋を明確に示す必要があります。

第２次岸田内閣の発足以降、政府は「新しい資本主義」を掲げ、「成長と分配の好循環」「コロナ後の新しい社会の開拓」に向けて議論を重ねてきました。私はコロナ禍を通じて、「強く豊かな国でなければ有事の際に国民を守ることができない」と改めて認識しましたが、日本を危機に対するレジリエンスを備えた強い豊かな国にするためには、コロナ禍で明らかになった社会課題の解決と経済成長を車の両輪として同時に実現することが必要です。

少子高齢化に向かう人口動態等、様々な構造的課題を抱えるわが国が、社会課題を解決すると同時に経済成長を図るためには、一国の豊かさを示す総合的な指標である「１人当たりＧＤＰ」の引き上げを国全体の目標として掲げ、あらゆる分野での生産性向上と潜在成長率の底上げを図る必要があります。特に、雇用の約７割を占める中小企業の生産性を引き上げることは、ひいてはわが国全体の生産性の向上につながる重要な課題です。他にも、経済・医療安全保障、成長を支える基盤である人材育成や科学技術研究への投資、デジタル化の推進、「Ｓ＋３Ｅ」の原則を踏まえたバランスの取れたエネルギー政策と技術革新等が不可欠です。通商面では、ＴＰＰやＲＣＥＰの成果を踏まえ、同じ考えを持つ国々との連携を深めつつ、引き続き日本が自由貿易体制推進において主導的な役割を果たすべきです。

こうした課題認識を踏まえ、われわれ商工会議所は本年、特に以下３点について重点的な取り組みを実行してまいります。

第一は「デジタル活用による中小企業の生産性向上」です。これまでも幾多の困難を乗り越えてきた日本の中小企業は、様々な変化に柔軟かつ迅速に対応できる潜在的な変革力を有しています。中小企業経営へのデジタル活用は、生き残りをかけた自己変革の有力な手段であり、コロナ禍で加速したデジタル化の流れを、業務効率化に留まらず、越境ＥＣ等を通じた販路拡大、さらには業態転換などのビジネス変革にまで広げる経営力向上の柱として強力に支援してまいります。

第二は「事業再構築、取引適正化等を通じた付加価値の向上」です。商工会議所による伴走型の経営相談体制の強化により、事業承継や事業の再生・再構築を後押しし、経営の効率化や付加価値創出力の向上を強力に支援してまいります。また、大企業と中小企業で構成されるサプライチェーン全体で、創出した付加価値やコストをフェアに分かち合う取引適正化も不可欠です。登録企業が４千社を超えた「パートナーシップ構築宣言」は、官民連携でこれを実現するための有力なプラットフォームであり、今後は宣言の実効性をより高め、中小企業の付加価値向上、ひいては日本全体の成長力の底上げに寄与してまいります。

第三は「地域ぐるみの地方創生の推進」です。東京一極集中と言われますが、実際には一次産業の成長産業化、インフラ整備を通じた製造業の集積、インバウンド需要の取り込みなどを進めてきた地方圏の方が、東京圏よりも高い経済成長率を実現しております。コロナ禍を契機としたさらなる地方分散化の動きもみられる中、政府の「デジタル田園都市国家構想」も踏まえ、こうしたモメンタムを地方創生の加速化につなげていくことは、レジリエントな日本の国土形成のためにも不可欠です。商工会議所は、地域総合経済団体として地域の多様な主体との連携を深め、地域ぐるみの地方創生をさらに後押ししてまいります。

最後に、日本商工会議所は今年で創立１００周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、次の１００年に向けて、中小企業の活力強化と地域活性化による日本経済の持続的な成長の実現を目指し、５１５商工会議所と連合会、青年部、女性会、海外の商工会議所とのネットワーク力を最大限活用し、新しい時代を皆さまと切り拓いてまいりたいと思います。引き続きのご支援、ご協力をお願いして、私の年頭のあいさつとさせていただきます。

令和4（2022）年 新年あいさつ

栃木県知事
福田富一

商工会議所会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めますとともに、引き続き、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、県民の暮らしと健康を守るため、必要な対策に万全を期して参ります。

一方、地域経済は大きな打撃を受け続けており、産業の基盤が脅かされるとともに、企業活動やイベントの自粛・縮小等により、ひとの交流機会が減少している状況にあるため、引き続き、通常に近い社会経済活動の一日も早い回復を図って参ります。

また、県政の基本指針である栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」には、ポストコロナを見据え、これまでとは異なる考え方や価値観を前提とする「新たな日常」の視点を取り入れた取組も盛り込んでおり、本県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略（第2期）」との連携を図りながら、各種プロジェクトをより積極的に展開して参ります。

具体的には、地方への関心の高まりを好機ととらえ、新しい生活様式を基本として、移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大に取り組み、本県へのひとの流れを着実なものとして参ります。

また、AI・IoT、ロボットなどが生活の中で溶け込み、生産性や利便性を向上させることにより、経済発展と地域課題の解決を図ることができる社会（Society5.0）の実現に向け、デジタル技術の更なる活用やデジタル人材の育成に取り組んで参ります。

さらに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、2030年における温室効果ガス排出削減目標を達成するため、オール栃木体制による脱炭素化を進めるとともに、気候変動の影響により、自然災害の頻発・激甚化が懸念される中、本県の地域特性に即した適応策を推進して参る考えであります。

さて、今年はいよいよ「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」開催の年です。1月には国体の冬季大会、10月には国体の本大会、全国障害者スポーツ大会であるとちぎ大会と続きますので、市町や競技団体・関係機関と連携を図りながら、大会のスローガンである「夢を感動へ。感動を未来へ。」のとおり、県民が夢と希望を抱き、多くの方々の心に残る大会となるよう準備に万全を期して参ります。

近年、働き方やビジネスモデルの多様化、東京一極集中是正の兆し、環境問題への意識の高まりなどの大きな変化が生じてきており、これまで解決が困難であった課題に対して積極的に取り組む好機が到来しております。これを逃すことなく、新しい時代の潮流を的確にとらえ、デジタル技術も有効に活用しながら、本県の将来像である「人が育ち、地域が活きる　未来に誇れる元気な〝とちぎ〟」の実現に向け全力で取り組んで参りますので、県民の皆様のより一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

（一社）栃木県商工会議所連合会
会長 藤井昌一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から2年余りが経過いたしましたが、まずもって感染拡大の抑止に懸命に取り組まれておられる医療従事者の方々と、感染対策を講じながら並々ならぬご尽力で事業に取り組み、地域の雇用を守ってこられた経営者の皆様に対し、心から感謝と敬意を表する次第です。

さて昨年を振り返りますと、年明けから3度にわたり緊急事態宣言が発出されたことにより、社会経済活動が停滞するなど、企業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にありました。

加えて、昨年後半からの原油価格の急激な上昇や原材料等の高騰は、多くの産業にマイナスの影響を与えており、企業の収益回復を更に厳しいものとしております。

本県においても、新型コロナウイルスによる甚大な影響などにより、飲食業、観光業などのサービス産業を中心に、企業収益が激減するなど窮地においこまれており、資金繰り支援や雇用調整助成金などを活用しながら懸命に事業継続を続けておられます。

このような状況下で当連合会といたしましては、各商工会議所との連携のもと数次にわたり「新型コロナウイルス対策に関連する各種提言要望」を行い、中小企業への緊急支援を関係機関に対し要請いたしました。

商工会議所といたしま

しても、コロナ禍の中、厳しい状況に置かれている中小零細企業の生の声を聴取し、この逆境の時にこそ、よりスピード感をもって行動していくことが大切な使命であると考えております。

今回のコロナ禍における未曽有の経済停滞の中で見えてきたものは、新たな視点からの危機管理対策や、高齢化と労働力不足がもたらす２０３０年問題に向けた更なる生産性向上やデジタル化の推進、さらには今後求められてくるグリーン社会の実現に向けた対応など、企業に課せられた課題はますます大きなものとなってきております。

近代日本経済の父と呼ばれ、また東京商工会議所の初代会頭となった渋沢栄一翁は、10万人余りが犠牲となった関東大震災の壊滅的な状況のなか、「逆境に処しては断じて行え。決して惑うてはならない」の気概のもと、敢然と立ち向かい全力で復興支援に取り組みました。

こうした先達の志を受け継ぎ、国難ともいえるこの状況を乗り切るため、会員事業所に寄り添った経営支援はもとより、コロナ禍で顕在化した企業の様々な課題の克服、さらにはコロナ後を見据えた企業の持続的発展に対し、各地商工会議所と一丸となってネットワークとコミュニケーションをこれまで以上に強固にしながら、事業に取り組んで参りますので、相変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と企業の御発展、そして令和４年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和４年新年のごあいさつ

栃木市長　大川秀子

新年明けましておめでとうございます。

栃木商工会議所会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響で延期・中止を余儀なくされていたイベント等が、ワクチン接種が進んだことにより、感染症対策の下で制限や縮小がありながらも一部が再開されるなど、少しずつですが通常に近い生活が戻ってまいりました。

このように経済の回復の兆しは見られるものの、新型コロナウイルス感染症による影響を受けている事業者の皆様には、国・県の支援の外、市独自の「事業継続応援補助金」や市制度融資の対象拡充など、事業継続及び経営安定の支援をさせていただいております。さらに、個人消費を喚起し地域経済の活性化を図るため、栃木市商工経済団体連絡協議会のご尽力により、プレミアム率30％の「とち介商品券」が発行されました。

そのような中で栃木市では、栃木駅北口に栃木市観光交流館「蔵なび」を、さらには嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区に「ガイダンスセンター」を開設し、観光案内や特産品の展示など、情報発信の場として多目的交流を行うとともに、本市の魅力を広く発信する新たな観光拠点施設として、魅力・活力・賑わいを創出しております。

そして本年は、市の中心部に新たに美術館と文学館が開設となり、蔵の街全体に、より一層の賑わいが生まれることを期待しております。さらには、国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び「とちぎ秋まつり」の開催が予定されており、ウィズコロナの下で安全・安心を確保しながら一日も早く通常に近い地域活動が再開され、地域経済が回復するよう努めてまいります。

結びに、会員の皆様には、あらためて市政全般につきましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして新しい年が幸多き年となりますよう御祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

会員事業所の皆さまへ『うずま共済』ご加入のおすすめ

『定期保険（団体型）（入院給付金付災害割増特約・がん重点型生活習慣病一時金特約付）』

◆◆◆　制度の特色　◆◆◆

①業務上・時間外を問わず24時間保障
②入院・通院で見舞金支給
③結婚・出産・成人で祝い金支給
④６大生活習慣病入院一時金
⑤がん入院一時金
⑥がん先進医療一時金
⑦健康増進に役立つ付帯サービス
⑧剰余金があれば加入者に配当金も
⑨１年更新で医師による診査はなし

ぜひこの機会にご加入をお勧めします。

【問い合わせ先】
管理課業務係
TEL２３－３１３１

【引受保険会社】
アクサ生命保険㈱佐野営業所
栃木分室
TEL２３－８９３４

●ご加入にあたっては、パンフレット・重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）を必ずご覧ください。

寅年議員さんより新年のご挨拶

寅年生まれの議員さんに新年のご挨拶を寄稿していただきました（敬称略）

㈲栃木地区浄化槽公社
代表取締役社長　柏崎和己

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスにより、これまでとは異なる生活を余儀なくされました。その影響は未だ続いております。

様々な災害が降りかかり、環境の劣悪化が進んでおりますが、水環境を守るため日々努力研鑽をしております。これからも皆様のご協力をいただきながら、きれいな水を未来に繋いでいくために邁進して参ります。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

結びに、皆様方のご健康をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

両毛印刷㈱
代表取締役　松本篤哉

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に悩まされる一年ではありましたが、国内においてはワクチン接種を希望される方々への2回接種も順調に進み、また新薬開発も進められていることもあり、少しずつではありますが、新型コロナウイルスとの付き合い方、新しい生活様式の中でのビジネスモデルの転換など、明るい光も見えてきたように思います。一年開催延期されていた東京オリンピック2020も、様々な意見がある中でありましたが無事開催され、アスリートが晴れの舞台で魅せる演技に、多くの感動と勇気をいただきました。この一年、国内や狭い地域のことだけではなく、世界全体、広い視野で考える機会でもあったように思います。持続可能な社会の実現に向けて、商工会議所事業につきまして、誠に微力ながら議員として努めて参ります。本年も変わらずのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに会員事業者の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

岡田石灰工業㈱
常務取締役　猿山貴

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますとマスクや消毒用アルコールの調達、職場内外の感染対策、あらゆる活動の縮小、延期、中止と、新型コロナウイルス感染症対策に振り回された一年となりました。会員の皆様も大なり小なりの影響を受けられたことと思料いたします。コロナ禍に如何に対応していくか、懸命な努力と工夫をされたことでしょう。昨年秋から急激に減少した感染状況がこのまま増加することなく収束に向かう事を願います。

結びに、会員の皆様にとりまして令和四年が飛躍の年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

議員懇談会開催

去る12月10日、市内において、役員・議員45名出席のもと、議員懇談会を開催した。

開会に先立ち、第58回栃木県商工会議所議員大会　功労者表彰状の伝達式が行われ、栃木県知事表彰（中小企業団体功労）に副会頭の茂呂　章氏、（一社）栃木県商工会議所連合会会長表彰（功労役員・議員　就任15年）に土谷一郎氏がそれぞれ表彰された。

懇談会開催にあたり、荒金会頭より「ウィズ・コロナのもとで、社会経済活動の正常化へ向け、当所として中小・小規模事業者に寄り添い、事業継続のためのきめ細かな支援を実施してまいりたい。」と挨拶された。

新型コロナウイルス感染症は収束傾向にあるが、会場では感染予防に慎重な配慮が施される中、出席者は互いに1年の労をねぎらう機会となった。

功労者表彰状の伝達（右：副会頭　茂呂　章氏）

荒金会頭の挨拶

食品部会講演会開催

去る11月30日、当所において食品部会主催による講演会を開催した。これは、部会員企業の経営力向上と、管内の食品関連業種の振興を目的とするもので、同部会員ら52名が参加した。

講師には、那須高原チーズガーデンを運営する㈱庫（くら）やの創業者で会長の手塚 清氏をお迎えし、「会社の薫りを創る」と題し講演された。

講演では、「ブランディングとは、１つの商品に関してではなく、会社全体として、商品・店舗開発・販売戦略・人材・労働基準、社内のケアすべてがブランディングであり、それが会社の『薫り』となる」と述べた。

今後も、食品部会の事業として、視察研修やセミナーなどを開催し、部会活動の活性化を図ってまいりたい。

講演する㈱庫や手塚会長

部会開催報告

第３回　サービス部会

開催日　11月25日（木）
出席者　７名
協議事項　(1)令和３年度事業計画（案）について

常設委員会開催報告

第３回　総務・組織委員会

開催日　12月１日（水）
出席者　８名
協議事項　(1)創立130周年記念事業計画について
(2)優良従業員表彰について

「TQCの三原則」勉強会開催

去る12月９日、当所において、「TQCの三原則」勉強会（主催は（公財）栃木県南地域地場産業振興センター・当所は共催）を、同センターものづくり企業支援登録指導員である中村昌民氏を講師に迎え開催した。当日の参加は、４企業６名であった。

TQCとは、総合的又は全社的な品質管理のことで、製品の企画段階から製造販売、そしてアフターサービスまでの全プロセスで総合的に品質管理を行うことである。

本勉強会は、品質向上に必要なTQC活動についての考え方や具体的な進め方を習得するため開催したもので、お客様第一を実践するための活動を展開してほしいとの内容であった。

決算書・確定申告書作成相談会のご案内

当所では、青色申告の個人事業者で決算書と確定申告書の作成が、自身では困難であると思われる方々を対象に、税理士会の協力をいただき、低廉な費用で、その作成の代行手続きを行う相談会を以下の日程で開催します。

ご希望の方は、事前の予約が必要となりますので、お申し込みください。また、詳細のお問い合わせも当所までご連絡ください。

■日時
２月17日（木）
午前９時から正午
午後１時から４時

■場所
当所会議室

【申込み・問い合わせ先】
中小企業相談所
TEL 23－3131

栃木市プレミアム付き商品券『とち介商品券』抽選会開催

栃木市商工経済団体連絡協議会では、発行総額２億８千６００万円（販売金額２億２千万円・プレミアム率30％）のとち介商品券販売に先立ち、申込金額が発行額を超えたことから、去る11月19日、抽選会を実施した。

抽選結果に基づき、12月10日から16日の期間、当所及び各商工会において、当選者への引換販売が行われ、即日利用が開始された。

抽選会は、栃木市担当者立会いのもと開催された

≪2021とち介商品券抽選結果≫

応募総件数	28,686件
応募総冊数	95,572冊
応募総額	4億7,786万円
当選件数	11,566件
当選倍率	2.48倍

栃木県内商工会議所女性会等広域事業講演会開催

去る12月15日、当所において栃木県内商工会議所6女性会（足利・宇都宮・大田原・小山・日光・栃木）による栃木県内商工会議所女性会等広域事業講演会が開催された。

八津弘幸氏による講演

当講演会は関東商工会議所女性会連合会の活動の一環として毎年開催されており、今年度は当会が主管となって約100名の参加者のもと行われた。

まず、主催者挨拶として、堀会長より日頃の活動へのご協力と本日のご参集に対する御礼が述べられた後、各女性会の紹介が行われた。

講師には、栃木市出身で栃木市ふるさと大使の脚本家 八津弘幸氏をお迎えし、「人の顔色を伺って何が悪い！～ヒットを生み出す脚本術」と題し講演をいただいた。

数々のヒット作を生み出すまでの道のりやヒットドラマの制作秘話などを交えつつ、人を惹きつける為の秘訣や考え方に参加者は熱心に耳を傾けていた。

他女性会との交流も深められたことから、引き続き県内女性会同士より結束を固め、連携して事業に取り組んでいきたい。

八津氏を囲んで

出演者募集中！

FMくらら栃木商工会議所
女性経営者会オリジナルラジオ番組

「チョー元気UP女性経営者会」放送中!!

【FM周波数85.7MHz】
放送日：毎月第1・第3月曜
16：00～16：30
30分間生放送
【問い合わせ先】
事務局　TEL23-3131

12月放送の様子

㈲ヴィーヴル総研　北川春代さん

（福）鐘の鳴る丘友の会
堀　惠子さん

毎月2回、会員が入れ替わりでラジオ番組に出演しています。会員事業所のPRの場として、是非ご活用ください。

企業サポート情報

専門家相談会

◆金融相談会
日　時　2月10日(木)
10時～正午
場　所　401会議室
相談員　日本政策金融公庫佐野支店
国民生活事業

◆経営相談会
日　時　2月15日(火)
10時～15時
場　所　302会議室
相談員　よろず支援拠点

◆事業承継相談会
日　時　2月22日(火)
10時～15時
場　所　302会議室
相談員　事業承継・引継ぎ支援センター

※ご相談には、事前予約のご連絡をお願いいたします。
【予約・問い合わせ先】中小企業相談所 TEL23－3131

経営指導員定例相談会

◆経営なんでも相談
開催日　毎週月曜日

◆商工法律相談
開催日　毎週火曜日

◆労務雇用相談
開催日　毎週水曜日

◆金融まるごと相談
開催日　毎週木曜日

◆知的財産権相談
開催日　毎週金曜日

※いずれも9時～17時
※場　所　1階事務室

栃木商工会議所Twitter お役立ち情報をツイートします

当所は、事業者向けのお役立ち情報を公式Twitter（ツイッター）にて発信しております。各種補助金、当所・栃木市のイベント等の情報をいち早く確認していただくことができます。
Twitterアカウントをお持ちの事業者様はぜひフォローしていただき、ご活用下さい。

栃木商工会議所
公式Twitter

栃木労働局「今月のおすすめ情報」を発信しています！

栃木労働局では、**主要な取組、重要なお知らせを「今月のおすすめ情報」**としてリーフレット形式でまとめ、**毎月、栃木労働局ホームページで情報発信**しています。
「今月のおすすめ情報」は、**前月下旬頃に発信**しています。事業主の皆さまのお役に立てる情報をお届けいたしますので、ぜひご活用ください！

HP のトップページのここに掲載しています！

◆栃木労働局HP　https://jsite.mhlw.go.jp/tochigi-roudoukyoku/
【お問い合わせ先】 栃木労働局雇用環境・均等室　☎028-633-2795

新入会員紹介【敬称略】

ご入会ありがとうございます

●あらかわ代行
（運転代行業）
代表　荒川 仁司
川原田町125－1
TEL 090－2226－3229

●福楽苑
（飲食業）
代表 佐々木 忠雄
今泉町1－8－4
TEL 27－2420

●松井実業
（建設業）
代表　松井 陸太
大町4－5
TEL 070－4175－2670

●田舎茶屋
（飲食業）
代表　山中 一幸
小野口町792
TEL 24－7475

●コミスタ
（ITコンサルタント業）
代表　高橋 英基
宇都宮市緑2－10－7
TEL 090－2723－9038

●カラオケ喫茶 アオイ
（飲食業）
代表　大塚 恒男
神田町5－13
TEL 080－3595－7603

●ワイスタイル
（外構、電気関連業）
代表 髙橋 佑太
薗部町2－21－11
TEL 050－3553－0395

●RAO（同）
（中古車等販売）
代表社員　サイード・ラオ・アザール
日ノ出町1－25
TEL 080－7091－7373

●㈱MARVELOUS TRADING
（中古自動車輸出販売業）
代表取締役　シャー・ナディーム・アリ
藤岡町赤麻1132
TEL 28－6254

●パティスリー・ブケ
（菓子製造販売）
代表　酒井 典子
境町1－8－102
TEL 28－6581

来たけ～見たけ～食ったけ～ 第15回あそ雛まつり

今年で15回目を迎える栃木のあそ雛まつりは、雛人形の展示と併せ、各種体験型イベントが企画されており、遊べる雛まつりとして左記のとおり開催されます。

開催期間
2月24日（木）～3月6日（日）

主な週末イベント
○おひな様アカデミー　2月27日（日）
○十三参り・流し雛　3月5日（土）
○あそ雛マルシェ　3月6日（日）

開催場所
蔵の街大通り　他

※新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントの中止・変更を行う場合がございます。

【問い合わせ先】
栃木市商店会連合会
TEL 23－3131

全国商工会議所

多様化・複雑化の傾向にある「**労災事故**」から**会員企業**も**従業員**もお守りします。

うつ病による自殺、過労死などによる **労災認定件数が** 増加
1億円を超える **高額な賠償事例が** 発生
短期間労働者、パート、アルバイト、派遣社員等 **非正規雇用労働者の** 増加
2014年 労働安全衛生法改正で **企業の安全配慮義務の** 厳格化

あなたの会社が「業務災害補償プラン」に加入していれば！

会員企業には… 資金繰りに影響を与えること無く、**高額な損害賠償金が支払い可能に！**

従業員には… パート・アルバイトを含む **全従業員を包括補償で安心！**

業務災害補償プラン

新型コロナウイルスも補償

●全国商工会議所のスケールメリットによる低廉な保険料（一般加入と比べ約半額の掛金水準）
●労災賠償に備える「使用者賠償責任保険」を標準セット
●政府労災保険の給付を待たずに保険金のお支払いが可能
政府労災保険への加入が必要です（使用者賠償責任保険は給付決定後の支払いになります）。
●派遣、委託作業者のほか、下請負人も補償
●政府労災で認定された業務・通勤による精神障害、脳・心疾患などの疾病（**新型コロナウイルス含む**）や自殺などを補償
政府労災保険の認定を受けた場合に上乗せ補償を受けるプラン・特約に加入している場合。なお、厚生労働省HP（令和2年4月6日時点版）によれば、労働者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合、業務または通勤に起因して発症したものであると認められれば、労災保険給付の対象となります。労災保険給付の詳細については、労働基準監督署にご確認ください。

商工会議所の保険制度HP　https://hoken.jcci.or.jp　制度運営　日本商工会議所　お問い合わせ先　栃木商工会議所　TEL 23-3131　引受損害保険会社　東京海上日動火災保険株式会社　損害保険ジャパン株式会社　三井住友海上火災保険株式会社　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社　大同火災海上保険株式会社（2020年10月補償開始）

●一部の商工会議所では、本プランを取り扱っていない場合があります。取り扱いの有無はお近くの商工会議所にご確認ください。
●本募集広告は概要を示したものです。補償の内容、対象業種は引受保険会社によって異なります。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。
●お見積り、ご加入手続き、保険内容のご不明点は、お近くの代理店または引受保険会社までご連絡ください。

商工会議所では、本制度のほかにも各種保険・共済制度を取り扱っております。詳しくは、お近くの商工会議所にお問い合わせください。

本募集広告は、商工会議所会員向け保険制度の事務管理を行う有限会社石垣サービスが日本商工会議所の経営協力により作成したものです。

左のQRコード
または下記URLから
https://tochioshi.com/
トチオシ！にアクセス！
無料でご利用いただけます！！

就職情報ポータルサイト『トチオシ！』

就職情報掲載企業募集中
採用をご検討されている事業所の皆様ぜひご活用ください！

【運営】ケーブルテレビ㈱　お問い合わせ先：TEL　0282－88－5486
【共催】栃木市・栃木商工会議所・栃木市商工経済団体連絡協議会

～栃木税務署からのお知らせ～

①マイナンバーカードを使って自宅からスマホで確定申告！

確定申告は、ご自宅からのマイナンバーカードを利用したe－Tax・スマホ申告が便利です。

マイナンバーカードとスマホ（マイナンバーカード読取対応）があれば、多くの方が来場される確定申告会場に出向くことなく、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用して確定申告を行うことができますので、ぜひご利用ください。

（メリットいっぱい！マイナンバーカード方式）

◆マイナンバーカードとスマホがあれば、自宅から24時間いつでも申告できます。
◆画面の案内に沿って入力すれば、自動計算されます。
◆過去の申告データを利用して自動入力できます。
◆還付申告の場合、e-Taxなら早期還付されます。
◆相談はチャットボットや電話でもできます。
◆スマホのカメラで源泉徴収票が自動入力されます。
◆スマホ申告は、専用画面を用意しています。
◆マイナポータル連携により、一部の所得控除等が自動入力されます。

≪動画で見る確定申告≫

動画で見る確定申告

≪確定申告書等作成コーナー≫

確定申告

≪マイナポータル連携≫

マイナポータル

②栃木税務署の確定申告会場について

令和３年分の所得税及び復興特別所得税、贈与税並びに個人事業者の消費税及び地方消費税の申告相談及び申告書の受付を下記のとおり行います。

期間	申告会場	対象の方
２月15日以前	栃木税務署庁舎 所在地　栃木市河合町1番29号	還付申告の方（注）
２月16日 ～３月15日	栃木商工会議所大ホール 所在地　栃木市片柳町2丁目1番46号	全ての方

（注）贈与税については、２月１日（火）以降、申告相談を受け付けています。
（ただし、土、日および祝日を除きます。）

※ **新型コロナウイルス感染症対策の一環として、還付申告の方の申告相談を２月15日（火）以前でも栃木税務署にて受け付けています。**
　○時間　相談受付：**午前９時から午後４時まで**
　　確定申告会場の入場には、当日配付または国税庁LINE公式アカウントから事前に取得した入場整理券が必要です。
※ スマホをお持ちの方は、確定申告会場において、基本的にスマホを利用して申告書を作成していただきます。
※ 確定申告会場に来場される際は、マスクを着用していただき、少人数でお越しください。
※ 入場の際に検温を実施しています。咳・発熱等の症状のある方は入場をお断りさせていただきます。
※ 午後４時前であっても、相談受付を終了する場合があります。
※ ２月16日～３月15日は、栃木税務署庁舎では申告相談を行っておりません。
※ 栃木商工会議所への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

【問い合わせ先】　栃木税務署
℡　0282-22-0885（自動音声案内）

国税庁LINE
公式アカウント

青年経営者会NEWS

る・じょーむ Le Jeune homme

NO.359 令和４年１月10日発行 ● 編集／青年経営者会

新年のごあいさつ

栃木商工会議所
青年経営者会
会長　小島　圭介

新年明けましておめでとうございます。謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は栃木商工会議所青年経営者会の諸活動に際しまして、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、７月頃から新型コロナウイルス感染症の拡大が顕著となり、８月に緊急事態宣言が発出され、９月末日まで継続されるなど、令和２年と同様、新型コロナウイルス感染症に苦しめられた一年でありました。昨秋より感染者数も減少に転じ、地域経済が動き出しつつありますが、12月上旬以降世界中で変異株が発生しており、依然として予断を許さない状況にあります。

一方で、延期となっていた東京オリンピック2020が開催され、自国を背負った各国の選手たちの姿に、勇気と希望を与えてもらいました。

令和３年度は、当会の活動において、「共に信じる、輝く未来のために－Believe in TOCHIGI－」をスローガンに掲げ、恒例事業の中止や縮小しての開催等以前のような活動は実施できていないものの、新たな取り組みとしてJR栃木駅北口にて「えきまえ公園イルミネーション事業～笑顔輝く子どもたちのために～」を実施いたしました。この事業は、イルミネーションで公園の木々に光を灯すことで、コロナ禍で疲弊した子供たちの心を照らし、苦しい時だからこそ、ささやかな光に未来を思い、勇気と希望を与え、これからの時代をつくる子どもたちへのエールを送りたいとして実施したものです。一つ一つが小さな光でも、それが集まれば大樹をも光り輝かせることができます。我々青年経済人は、その光となり、一丸となって今の時代にしかできないこと、今の時代だからこそできること、変化を恐れず新たなことに引き続き挑戦してまいります。

さらに令和４年は、いよいよ、日本商工会議所青年部第42回 関東ブロック大会蔵の街とちぎ大会が開催されます。蔵の街とちぎの魅力を関東の同志へ伝えられるよう、着々と準備を進めております。また、開催に際しまして、皆様のご支援ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

結びに、令和４年が皆様にとりまして飛躍の年となり、皆様の企業がますます発展されますこと心より御祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

女性経営者会NEWS

新年のごあいさつ

栃木商工会議所
女性経営者会
会長　堀　　惠子

新年あけましておめでとうございます。

令和４年の新春を迎えましたこと謹んでお慶び申し上げます。

平素は栃木商工会議所女性経営者会の活動に対し、ひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、我が国は多少落ち着きを取り戻したものの、世界に目を向けますと依然として感染症収束の見通しが立たない状況にあります。皆様におかれましても未曾有の災禍の中、大変なご苦労をされておられることと案じております。

そのような中、当会の活動におきましても、予定されていた数々の事業において活動自粛を余儀なくされることもございましたが、昨年はコロナ禍において出来ることや収束後を見据え、自粛下においても工夫した活動をしてまいりました。

まず、１月よりFMくららにおきまして、吉本興業所属・栃木市ふるさと大使の上原チョー氏をパーソナリティにお迎えし、当会オリジナル番組「チョー元気UP女性経営者会」の放送を開始しました。さらに５月には関商女性連総会、そして10月には全商女性連総会に、ともにオンラインにて参加し、各地の女性会との繋がりと結束を感じることができました。また６月には、過日やむなく延期としていた大川栃木市長による講演会が実現し、そして12月には栃木県内商工会議所女性会（足利・宇都宮・大田原・小山・日光・栃木）による講演会に、脚本家で栃木市ふるさと大使の八津弘幸氏を講師にお迎えし、約100名の出席のもと、当会主管で無事開催することができました。

当会は令和５年８月に創立５周年を迎えることになります。本年は５周年記念を祝するための準備も進めてまいりたいと考えております。

本年も感染症拡大防止に留意しながら、会員が一体感をもって引き続き地域の活性化のため取り組んでまいりますので皆様のより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この災禍の一日も早い収束を心より願い、皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。